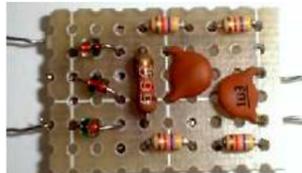


# LF用デジタルRF電流計 製作例

検出部 蛇の目基板 部品配置例

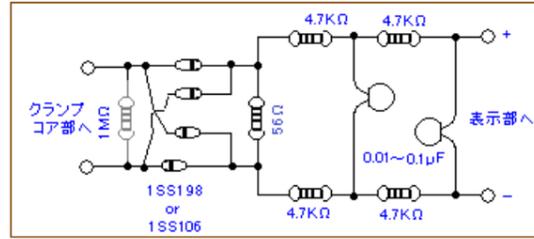


検出部基板を 取手に内蔵配置した 製作例



基板半田面に ダイオード1本配置

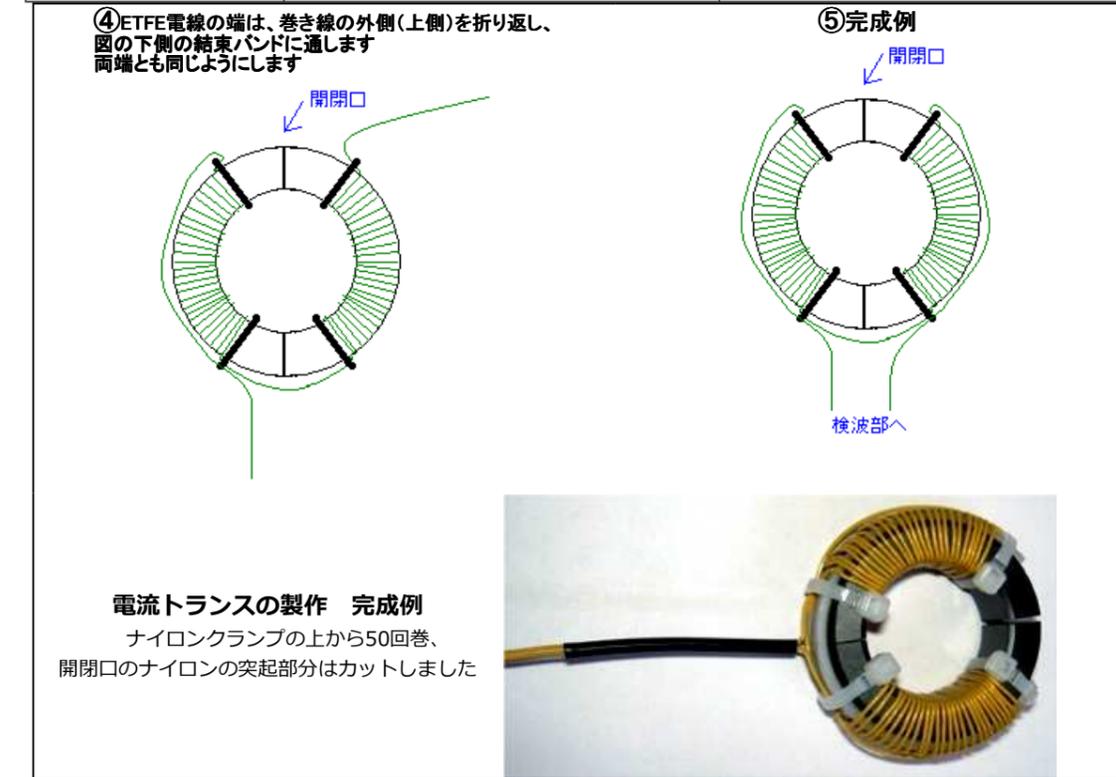
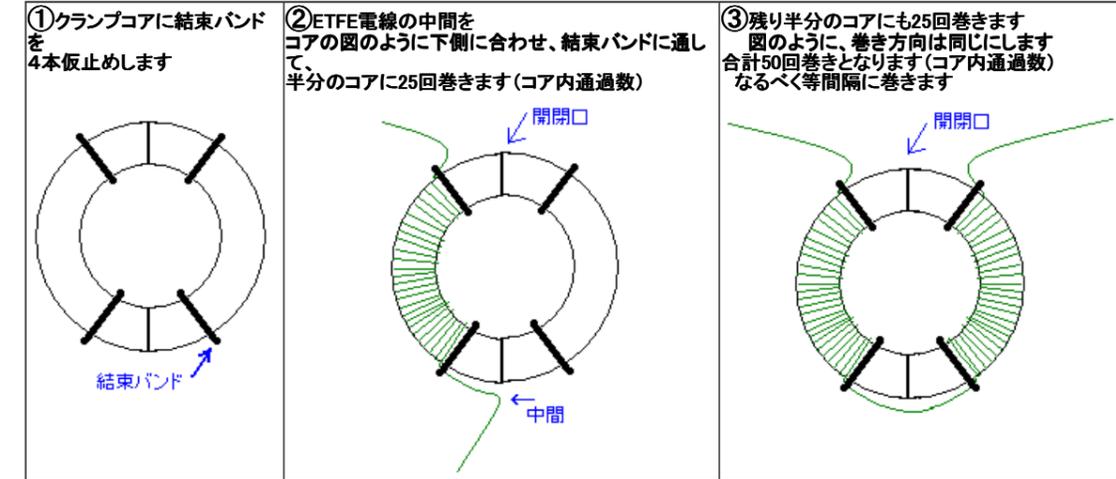
## LF： 検波、平滑部 構成図



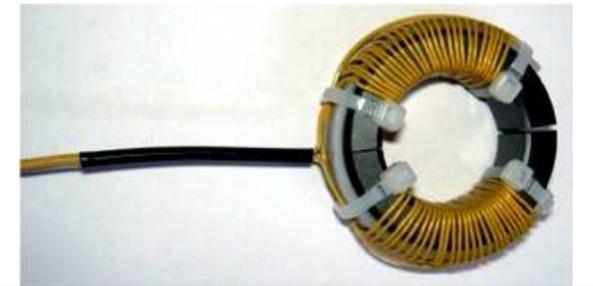
周波数範囲：135kHz~4MHz  
電流範囲：50mA~2A (短時間なら4A)  
精度：約20%

## LF用クランプコアの巻き方例

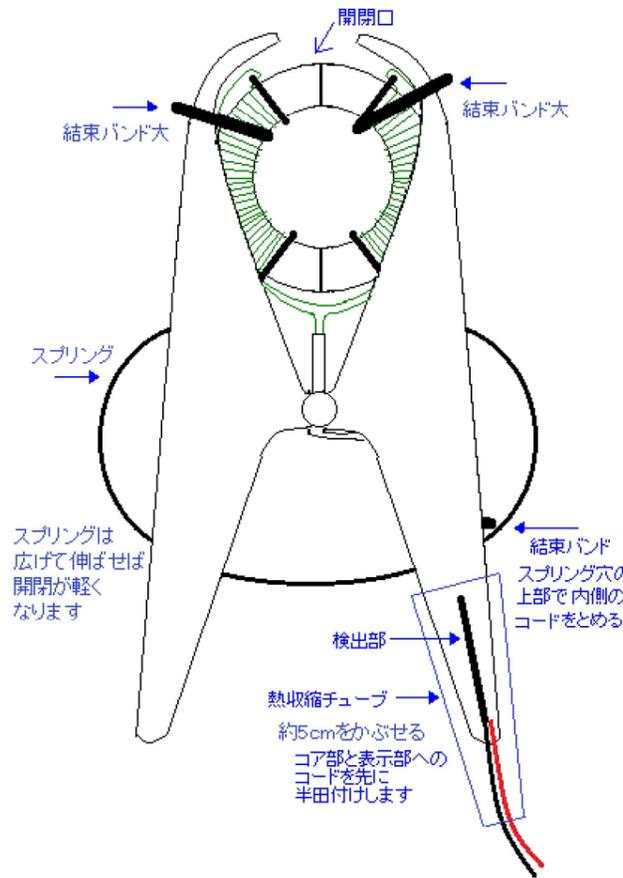
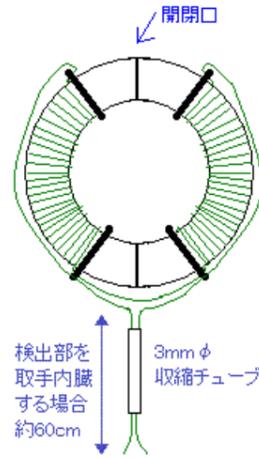
クランプコアにビニール被膜線を50回巻きします (コア内通過数)  
(ナイロンクランプの上に巻きます) ビニール皮膜線は、半分に折り曲げて、中間にしるしをしておきます



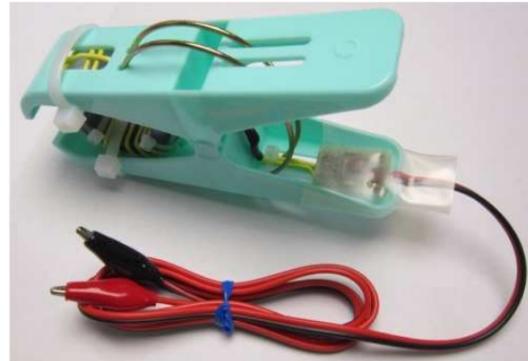
電流トランスの製作 完成例  
ナイロンクランプの上から50回巻、  
開閉口のナイロンの突起部分はカットしました



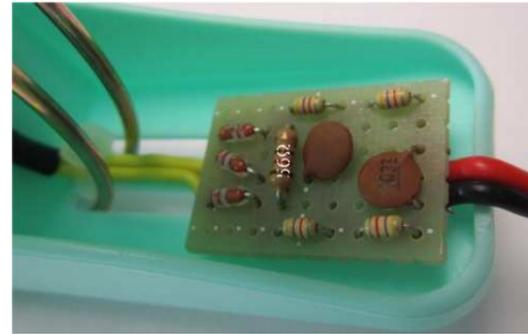
- ① LF用クランプコアの巻き方例の通り、ナイロンクランプコアに50回巻きして電流トランスを作ります  
検出部へのコードに、右図のように、3mmφの収縮チューブを通します
- ② 特大洗濯バサミ(ピックピンチ)に右図のようにはさんで、開閉口に近い方で結束バンドで固定します  
(検出部へのコードは内側のすき間から取手の方に通しておきます)
- ③ 蛇の目基板で作った検出部にコアからの線と、表示部への赤黒平行線を、それぞれ半田付けします  
コアからの線は、検波部製作例の写真のように、スプリングの間を通して検波部基板につなぎ、開閉がスムーズになるよう収めます、スプリング穴の上部でコードを固定します
- ④ 透明の熱収縮チューブを、赤黒平行線側から通して、取手の内側に収めた検波部基板ごと、かぶせます  
強力ドライヤーなどの熱風で、収縮固定します
- ⑤ 赤黒平行線の先に、ミノムクリップを半田付けします



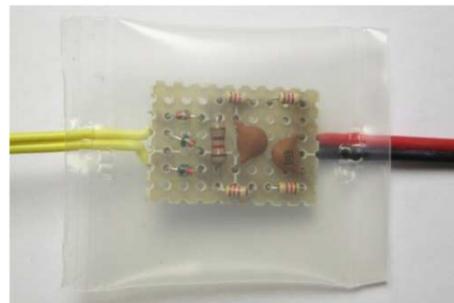
### 検波部製作例



### 検波部製作例拡大写真



### 検波部基板をコード中間に配置した 製作例



### テスターに接続した例



有限会社 大進無線

〒410-0022 静岡県沼津市大岡 2223-14  
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <https://www.ddd-daishin.co.jp/>  
E-mail [info@ddd-daishin.co.jp](mailto:info@ddd-daishin.co.jp)